

▼メイセリン静注用 [注]

【重要度】★★ 【一般製剤名】セフミノクスナトリウム水和物 (CMNX) cefminox sodium hydrate [MT-141] 【分類】セフェム系抗生物質

【単位】▼1g/V

【常用量】■成人：2g/日を分2 [最大6g, 分3~4] ■小児：20mg/kgを1日3~4回

【用法】■1日2回 [高用量では1日3~4回] ■静注もしくは1~2hrかけて点滴静注

【透析患者への投与方法】0.5~1.0g/日 [HD日はHD後] (1)

【保存期 CKD患者への投与方法】腎機能正常時の半減期2.4hrが、Ccr 48mL/minで4.8hr, Ccr 33mL/minで8.4hr, Ccr 30mL/minで9.3hr, Ccr 10mL/min未満で24.4hrに延長 (1)

【その他の報告】Ccr 30~50mL/min : 50~75%に減量, Ccr 10~30mL/min : 50%に減量, Ccr <10mL/min : 25~50%に減量 (5)

【特徴】セフェム系抗生物質. 7位にD-システイン構造を持つアミノ酸側鎖を有し, 3位にN-メチルテトラゾールチオメチル基を有する誘導体.

【主な副作用・毒性】ショック, 汎血球減少, 大腸炎, 急性腎不全, SJS, 皮膚症状, 血球減少, 肝機能障害, 消化器症状など

【代謝】代謝されない (1)

【排泄】代謝されずに尿中に回収 (1) 尿中未変化体排泄率90% [12hrまで] (1)

【CL】3.3L/hr (1)

【t1/2】2.4hr (1)

【蛋白結合率】61% (1)

【Vd】11L/man (1) 前立腺組織への移行率は血清の10%程度であり炎症により影響されない (Sasagawa I, et al: Int Urol Nephrol 23: 569-72, 1991 PMID: 1722784)

【MW】667.66 [7水和物]

【透析性】資料なし (1) ある程度除去されると思われる (5)

【O/W係数】LogP=-3.0未満 [1-オクタノール水系, pH4~6] (1)

【相互作用】アルコール：ジスルフィラム様作用に注意 (1)

【主な臨床報告】腹腔内感染症に対する2g/12hr投与は, メトロニダゾール500mg/8hr+ゲンタマイシン80mg/8hrと同等の効果 (Torres AJ, et al: Infection 28: 318-22, 2000 PMID: 11073141) 急性腹膜炎への良好な選択 (Nakamura T, et al: Jpn J Antibiot 38: 1178-94, 1985 PMID: 3930784)

【更新日】20180711

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。